

ゴールドネット株式会社 太陽光発電事業

■事業概要

本事業は、茨城県土浦市の資材置き場に敷地面積約 9,800 m²、発電出力 574kw のゴールドネット株式会社太陽光発電所を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	茨城県土浦市
用途地域	—
発電出力	574kw
工事予定期間	平成 28 年 1 月～平成 28 年 5 月
供用開始予定	平成 28 年 5 月

■立地環境

事業予定地は、茨城県土浦市板谷の造成された資材置き場であり、植生は見られず、予定地北側及び西側の斜面はモウソウチク林であるが林床に植生は見られない。また、事業予定地の南には隣接して市街地が広がり、北には中貫都市水路が流れ、その周りは水田地帯。一方、東南～東北には工場地帯が広がり、北～西には果樹園や針葉樹林が散在している。最も近い住宅までは約 20m の距離がある。

■実施した環境影響調査

土浦市及び茨城県の公表資料、環境省の第 5 回～第 7 回自然環境保全基礎調査などの既存文献調査並びに専門技術者による現地調査を実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

事業内容及び事業実施に際しての環境配慮の取組計画をとりまとめた環境配慮計画書を、事業者の事務所に閲覧し意見提出を受け付けた。閲覧場所、問い合わせ先及び意見提出先は事業予定地に掲示し周知した。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 建設工事中の配慮：建設機械は低騒音・低振動型を使用、工事用車両は走行ルートを限定し徐行運転やアイドリングストップを徹底する計画とする。
- 供用中の配慮：パワーコンディショナーをできるだけ周辺民家から離れた場所に設置する計画とする。



環境配慮に関するコメント

工事期間中の建設機械や工事用車両による騒音・振動について、稼働台数や作業場所等を記載したうえで定量的な予測評価を行い、環境配慮の取組を計画している点は評価できる。

一方、太陽光パネルの洗浄にあたっては、有機溶剤の使用を控えるなど環境に配慮した取組をお願いしたい。また、太陽光パネルに光反射防止膜や低反射パネルなどの採用、隣接する住宅地に面する敷地の植栽など、地域景観及び光害の影響軽減に努めるようお願いしたい。さらに、太陽光発電設備が使用済みとなって排出される段階においては、その時点での最新の知見を踏まえて、リユース・リサイクル・適正処分に努めるようお願いしたい。